



- ①天萬庁舎前に集まった大勢の町民に手を振られる天皇、皇后両陛下
- ②入所者と園児の交流風景
- ③おもてなし広場でも竹すめは大人気
- ④式典音楽隊には富有の里コーラスや町内中学校の吹奏楽部も参加し式典を盛り上げました

※写真提供：鳥取県



●南部町の特産品をPR

会場内には、鳥取県の森林づくり活動、観光、特産品の販売など、県内外からのお客様をおもてなしする「おもてなし広場」が設けられました。

南部町も、町の無形文化財である「一式飾り」の展示と竹すめ、いちじくジャム、赤猪岩せんべいなどの特産品を販売し、多くのお客様で賑わいました。

●小旗を振って大歓迎

式典後、会場を御出発された天皇皇后両陛下は、12時半過ぎに昼食会場の天萬庁舎に御到着されました。歓迎場となった庁舎横の駐車場には、一般応募の中から抽選で選ばれた100人（奉迎、奉送それぞれ50人）の熱烈的歓迎に、お手を振って応えられました。庁舎に入られる際にも柔らかい笑顔で再び応えられ、歓迎場は大歓声に包まれました。

出迎えられた方は「南部町で天皇皇后両陛下をお迎えするこ

とができるとは思わなかったの

で感激しました」「子どもたちと一緒に迎ええることができ、大変うれしかったです」などと話しました。

また、沿道でも天皇皇后両陛下をお迎えしようと約5千人の町民が集まり、歓迎用の小旗を持って歓迎しました。

●南部町内を視察

天萬庁舎での御会食では、鳥取県西部地区の食材を使った9品が用意されました。その内の一品には、南部町で生産された食材（白ネギ、猪肉）を使った「猪肉と白ネギのしぐれ煮」をお召し上がりになりました。

天萬庁舎には約2時間ご滞在され、再び町民の奉送に応えられながら2時半過ぎに次の視察先「特別養護老人ホームゆうらく」へと向かわれました。

ゆうらくでは、さくら保育園年長児と入所者との交流の様子や、施設内を視察。職員は「両陛下が入って来られると周りの空気がとても柔らかくなりまし

た。親しく声をかけていただき、利用者の方も大喜びでいましたね」と話しました。

南部町内が温かい歓迎ムードに包まれた一日となりました。



法勝寺駐在所の向いにも大勢の人が集まりました

